

# 正しく知ろう! がんのこと

## ～学んで受けよう がん検診～

### 「第1回 浜松医療センター市民公開講座 in こさい」開催!!

湖西市は浜松市と「浜松医療センターと市立湖西病院における持続可能な地域医療体制の確保に関する連携協定」を結んでおり、このたび、浜松医療センターが主催する市民向けの公開講座を開催することになりました。

講演順	講演名	講師
講演1	浜松医療センターにおける <b>肝臓がん・膵臓がん</b> の現状と湖西市との関わり	副院長 落合 秀人 先生
講演2	今、浜松医療センターの肺がん治療はどうなっているのか? <b>肺がん</b> 治療の革新と広がる腫瘍専門医の役割	呼吸器内科医長 小澤 雄一 先生
講演3	現状(いま)とこれからの <b>大腸がん</b> 治療	消化器外科医長 川村 崇文 先生

**とき** 11月11日(土) 13時30分～16時(受け付け13時～)

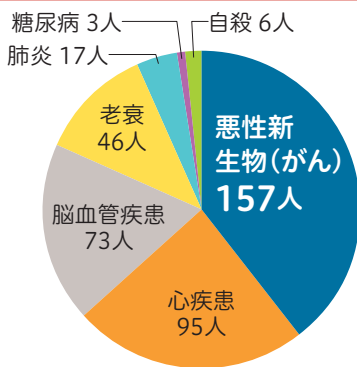
**参加費・申し込み** 不要

**ところ** 湖西市健康福祉センター(おぼと)

**その他** 先着順100人まで受講可

### 湖西市の主な死亡原因

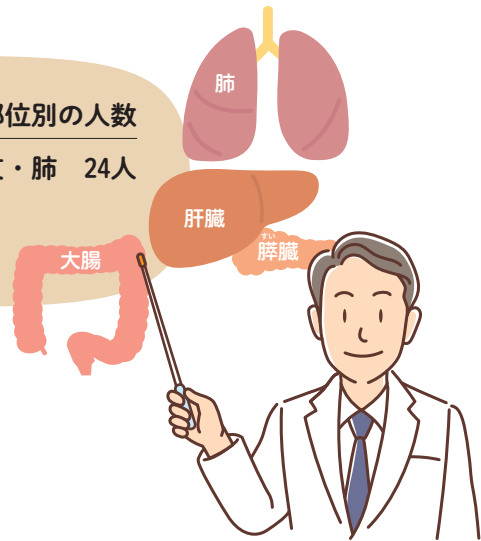
#### 令和2年 湖西市死因別死亡数



#### 悪性新生物(がん)の部位別の人数

- 第1位 気管・気管支・肺 24人
- 第2位 膵臓 21人
- 第3位 大腸 18人

引用：静岡県人口動態統計  
(令和2年12月末日現在)



湖西市の死因の第1位であり、身近な病気である「がん」。

しかし、発症したら必ずしも二度と治らないという病気ではありません。**早期発見、早期治療**をすることで9割近くの方が治ると言われています。

がんについて正しく知り、定期的ながん検診や、何か気になる症状があったら早めに受診をしましょう。

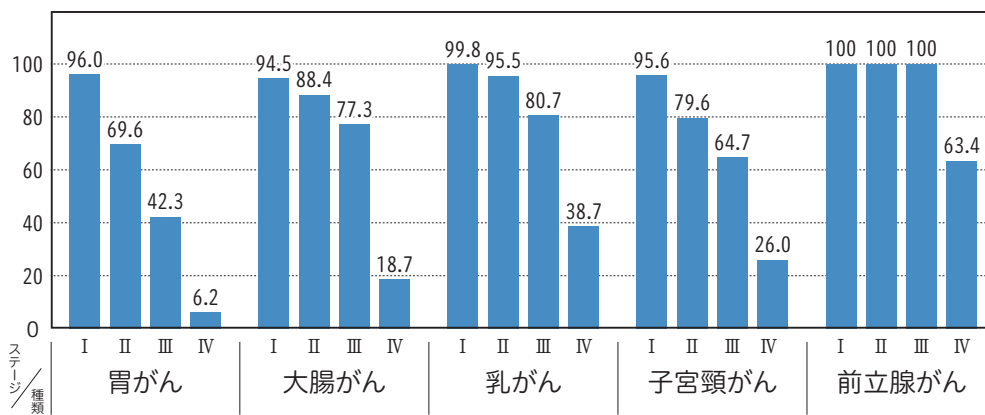
〈 広告欄 〉

## がん検診「要精密」はすぐに受診! ほったらかしにしていますか?

がん検診を受けた後、「要精密」・「要再検査」・「要治療」という結果が届いても、「特に調子は悪くないし、わざわざ精密検査までしなくていいかな」とか「来年もう一回確かめればいいか」と放置していませんか?

がん検診の「要精密」は“がんの疑いあり”という段階で、初期のがんは症状がほとんどないまま進行することが多いです。また、直径1cmのがんは1年半で2倍の大きさになり、元のがんが大きければ大きいほど短期間で大きくなりやすく、進行したがんとなってしまいます。自覚症状がなくても早い段階で精密検査を受診し、**本当にがんなのか、がんではないのか**を確かめることが大切です。(「要精密」・「要検査」・「要治療」はがん以外の疾患による異常の可能性もあります。)

(%) 各がんのステージ別5年相対生存率※



出典：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2013-2014年5年生存率報告書

※5年相対生存率とは、がんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標。がんと診断された人のうち、5年後に生存している人の割合と同じ性別・年齢の人で、5年後に生存している人の割合を比較している。

せっかく受けた検診を無駄にせず、進行したがんになってしまう前に、「要精密」など受診を促す結果が届いたら必ず医療機関を受診しましょう。



100歳

おめでとうございます

100歳を迎えた皆さんを訪問し、お祝いしています。

9月5日 加藤 恵美子さん(南台)

9月6日 小野田 敏子さん(鷺津)

※許可をいただいた人のみ掲載しています。  
写真はウェブサイトをご覧ください。

